

## 報告タイトル：

(和)：ベトナム人留学生の日本留学の「経済的」と「非経済的」願望 ～ 海外留学の希望を促進するのに不可欠な「非経済的願望」

(英)：Economic and Non-Economic Aspirations to Study in Japan of Vietnamese Students: The Importance of Non-Economic Aspirations in Enhancing the Desire to Study Abroad

## 報告者：

(和) トラン ラム ティエン ニー (龍谷大学・国際学研究科)

(英) TRAN LAM THIEN NHI (Ryukoku University - International Studies)

キーワード：ベトナム人留学生、日本留学動機、経済的願望、非経済的願望。

### 1. 研究背景と研究目的：

海外留学の動機は複雑であり、学生が留学先を選択する際には様々な要因が関与する。本研究では、このような留学動機の多様性を理解し、在日ベトナム人留学生の「経済的願望」と「非経済的願望」を明らかにする。

近年、日本留学を選択したベトナム人留学生の数が急速に増加している(政府統計の総合窓口、2023)。従来の研究において、日本はベトナム人留学生の第二選択先であると指摘された(Liu-Farrer と Tran、2019)が、2022年にはベトナム人の一番人気な留学先は日本だったと発表している(UNESCO、2023)。この傾向の背景を、西日本新聞社(2017)が留学生を「偽装留学生」と名付けて、彼らは「出稼ぎ」のために来日したと説明している(Mazumi、2021)。しかし、直近のベトナムにおける経済状況は徐々に発展しており、平均収入が上がってきている(佐藤、2022)ので、彼らの日本留学の目的には非経済的願望も関与する。この論点は、Murphy-Lejeune(2002)は既に強調したが、それは西欧諸国からの留学生(先進国の出身者)の視点であり、在日ベトナム人留学生を対象としたものはまだ少ない。

また、2023年にベトナムでフィールド調査を行い、当時ベトナムで日本語を学んでいる学生395名を対象に、「日本語学習が終了したら日本に行きたいと思っているか」のアンケートを収集した。その結果、72%の回答者が行きたいと思っていなかった。この現状から、在日ベトナム人留学生は何を求めて来日したのかを再検討する必要があると考えた。

従って、本研究では、ベトナム人留学生の日本留学の動機にある経済的側面だけでなく、先行研究でよく見逃されている非経済的な側面にも焦点を当て、考察する。

### 2. 研究方法：

本研究の目標を達成するために、ベトナム人留学生23名を対象に、インタビュー調査を行った。収集したデータを、de Haas(2021)の「aspirations - capabilities」分析枠組みに援用し、分析した。

### 3. 研究結果：

データ分析の結果、ベトナム人留学生の日本留学の動機は単に経済的な欲望だけでなく、非経済的な要素も重要な役割を果たしていることが分かった。

確かに、ベトナム人留学生の日本留学の動機は、従来からよく指摘されてきた通り、「経済的願望」が比較的に関心されている(佐藤、2016)ことが分かった。よく注目されたことは(1)外国語能力、(2)高等教育資格(例：学士、IT技術)、と(3)仕事の経験だった。これはベトナムで就職する際の前提条件であるため、これが理由で来日したと見なすことができる。すなわち、日本留学は将来の就職につながる第一歩であり、彼らの経済的な願望を満たす道であると本研究の結果から再び強

調された。

しかし、彼らの「非経済的願望」にも注目すべきである。この側面にある願望を探るために、彼らが母国での経験から生まれた要素に目を向け、それらの要素がどのように日本留学の願望に影響するか、とりわけ彼らが日本で求めている「非経済的願望」は何かを明らかにした。その結果、(1) ベトナムから経験してきたネガティブなこと（例えば、ベトナムの軍隊参加義務からの脱出、ネガティブな職場、教育での失敗など）を解決し、古い環境から逃げ出す夢、(2) 日本に住む夢<sup>1</sup>、そして(3) 日本で体験し、自分を成長させる夢、といった点が見られた。これらの視点に注目することで、なぜベトナム人学生が留学を決めたのか、なぜ第二留学先の日本を選択したのかを説明できるようになった。

#### 4. 考察：「経済的願望」と「非経済的願望」の同時存在

日本留学の経済的な願望は留学生研究において当たり前のよう考えられるだろう。特に、このアイデアは発展途上国のベトナムから先進国の日本に移動する留学生に適切する。しかし、非経済的願望も重要な役割を果たしており、経済的な願望と同時に存在すると考えられる。Asayesh と Kazemipur (2023) は、実際多くの人々が移動しないことを満足していると指摘した。この視点から、国際移動の「非経済的な欲望」に注目しなければ、なぜ人が国際移動を決めたかを見極めることが難しい。

#### 助成金

本研究は、フィールド調査補助費を受けたものである。

#### 謝辞

本研究を進めるにあたり終始あたたかいご指導と激励を賜りました龍谷大学大学院 国際学研究科 デブナール ミロシュ准教授、カルロス マリア・レイナルース D. 教授、友永 雄吾准教授に心から感謝の意を表します。

#### 参考文献

- Asayesh, O., & Kazemipur, A. (2023). Homo Emigraturus vs. Anti Emigraturus: The Rise of Involuntary Immobility in Iran and Its Consequence. *Journal of Ethnic and Migration Studies*.
- Liu-Farrer, G., & Tran, A. (2019). Bridging the Institutional Gaps: International Education as a Migration Industry. *International Migration*, 57(3): 235-249
- Mazumi, Y. (2021). How Part-Time Laboring International Students Incorporated into Host Labor Markets after Graduation? The Case of South and Southeast Asians in Japan. *Japanese Studies*, 41(2): 201-219
- UNESCO Institute for Statistic. (2022). *Outbound Internationally mobile students by host region*. Sustainable Development Goals. [UIS Statistics \(unesco.org\)](https://uis.unesco.org/)
- de Haas, H. (2021). A Theory of Migration: The Aspirations-Capabilities Framework. *Comparative Migration Studies*, 9(8)
- 佐藤, 2016 「ベトナム人、ネパール人留学生の特徴と増加の背景〜リクルートと受け入れにあたっての留意点」『ウェブマガジン「留学交流」』2016年6月号 Vol. 63
- 政府統計の総合窓口, 2023 「在留外国人統計」([在留外国人統計 \(旧登録外国人統計\) 在留外国人統計 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口 \(e-stat.go.jp\)](https://e-stat.go.jp/), 2024年2月22日アクセス)

---

<sup>1</sup> 留学とは、勉強や学位取得のために海外移動することである。多くのベトナム人にとって、英語圏で学位取得することが第一希望である。一方、日本の生活や価値観に魅了されているベトナム人も多く、日本に「住む」ことが彼らの希望であり、第二志望先である。つまり、英語圏とは異なり、日本で学位取得することは重要であるが、それよりも日本に「いる」ことが彼らの夢なのである。